

## 校区の概要

平成 17 年に旧吉松町と旧栗野町が合併し湧水町となり、旧吉松町全域が校区にあたる。

吉松は県北端に位置し、宮崎県えびの市と隣接する。昔から鹿児島・宮崎・熊本の三県を結ぶ要地で鉄道の町として栄えた。

校区の中央を南北に川内川が流れ、霧島火山系にある吉松盆地は豊かな自然と温泉に恵まれている。

平均気温は鹿児島市に比べ 3~4℃低い。

<p>自然環境</p>	<p>沢原高原等自然林の植生等ユウスゲやサギソウ、ノヒメユリ、ウメバチソウ等の植物、自然林の八色鳥やオオウラギンヒョウモン等</p> <p>霧島湧水の湧出</p> <p>温泉源（豊富な泉質）</p> <p>交通機関 高速道路や国道 268 号 JR 肥薩線・吉都線の分岐駅</p>	<p>教育文化環境</p>	<p>校区内には、旧石器時代や縄文、弥生時代などの遺跡（七つ谷遺跡や永山遺跡、石打遺跡跡等）吉松中央公民館等の文化施設及び総合体育館やグラウンドがある。</p>
<p>安全環境</p>	<p>校区内を国道 268 号が縦貫し特に平日はトラック等の交通量が多い。</p> <p>川内川が流れ、遊泳禁止区域等の範囲の広さや雨期の増水等への不安がある。</p> <p>校区内にはため池も幾つかあり安全上常に注意が必要である。</p>	<p>公共施設等との距離</p>	<p>最も近い医療機関までの距離（300m） 所要時間（車で1分）</p>



池平公園からの眺望  
(R8年3月)